

⑥情報の入手方法（とどく情報とあつめる情報）

避難行動をいつ起こすかは、得られる情報をもとに状況を把握して判断する必要があります。どのような情報がどのように得られるのかを知っておきましょう。

「あつめる情報」は、緊急時に慌てることのないよう、普段から触れて慣れておきましょう。



⑦指定緊急避難場所



河川のはん濫から命を守るために緊急的に避難するための施設または場所です。早期の長距離避難に対応するため、浸水が想定されない地区にも開設します。

状況に応じて順次開設されますが、状況によっては開設されない避難場所もありますので、そのときに得られる情報を確認して避難しましょう。

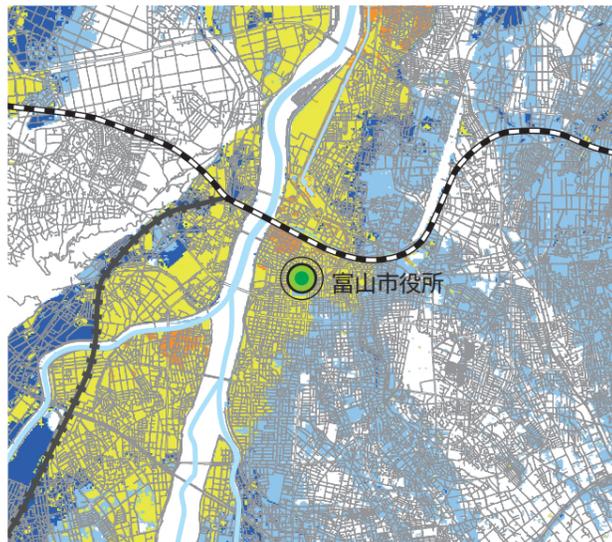
一覧にて、それぞれの想定における利用可能階などのリスク情報を表示しています。

校区	名称	利用可能階		最大想定でのリスク		所在地	電話番号 (市外局番+076)
		基本想定	最大想定	家屋倒壊	浸水継続時間		
奥田	奥田小学校	2階以上	2階以上	氾濫流	12時間～1日未満	奥田双葉町10-18	441-3746
	奥田中学校	2階以上	2階以上	該当なし	12時間～1日未満	奥井町25-10	441-3628
	富山聴覚総合支援学校	全階可能	2階以上	該当なし	12時間未満	下奥井1-9-56	441-9172
	富山県民共生センター	2階以上	2階以上	氾濫流	1日～3日未満	湊入船町6-7	432-4500

地区詳細図⑧の避難場所の抜粋

！ 浸水継続時間

最大想定 による洪水において、浸水の深さが50cmを超えてから50cmを下回るまでの通算時間を一定の条件のもと計算されたもので、避難場所の選定、もしくは自宅待機などの判断材料となる情報です。

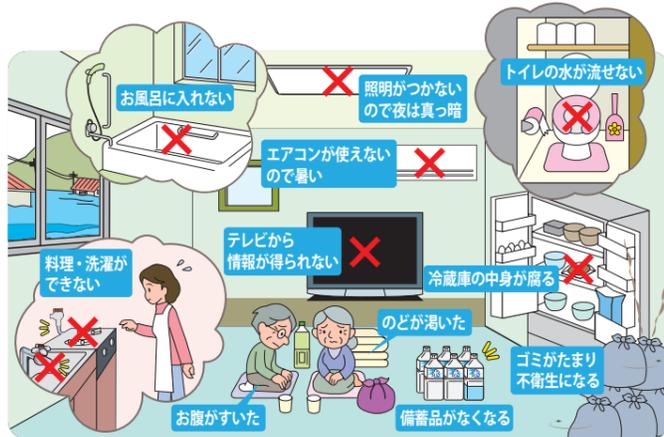


富山市ホームページに【全体図】を掲載しますので、自宅周辺を確認してみましょう。



富山市 洪水ハザードマップ

自宅にとどまり、停電や断水が発生した場合に、浸水が長期に及ぶと、命の危険につながることも！



2つの洪水浸水想定について（基本想定と最大想定）

基本想定

河川整備において基本となる降雨（計画規模^{※1}）を対象とした洪水浸水想定区域を、市では**基本想定**と呼び、比較的発生頻度の高い降雨に対応しています。

※1：河川管理者が河川ごとに流域の大きさなどを考慮して定めているもので、市に影響のある対象河川の年超過確率は1/30（坪野川）～1/150（常願寺川、神通川、西派川）となっています。

最大想定

多発している豪雨被害への対応を図るため、**観測された最大降雨量**をもとに設定される想定し得る最大規模の降雨（**想定最大規模**^{※2}）を対象とした洪水浸水想定区域を、市では**最大想定**と呼び、予想される総雨量などの事前情報をもとに、計画規模を超え想定最大規模の降雨に備える必要があると考える場合に対応するものです。

※2：一般的に年超過確率は1/1000程度とされています。

年超過確率とは・・・

毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率のことで、年超過確率が1/50の降雨であれば1年間にその規模を超える降雨が発生する確率は2.0%となります。

（「50年に1度程度起こる降雨」と示されることがあるもので、マップでもこの表現を用いています。ただし、50年周期で定期的に発生するものではないので、ご注意ください。）

！ 対象河川ごとに設定される総雨量について

各河川の位置は13ページで確認ください。

管理者	水系	河川名	計画規模の総雨量 (基本想定の対象)	想定最大規模の総雨量 (最大想定の対象)
国土交通省	庄川	庄川	2日間の総雨量368mm (1/150) (市内に影響なし)	48時間の総雨量655mm
国土交通省	常願寺川	常願寺川	2日間の総雨量498mm (1/150)	48時間の総雨量776mm
国土交通省	神通川	神通川	2日間の総雨量264mm (1/150)	48時間の総雨量537mm
国土交通省	神通川	西派川	2日間の総雨量264mm (1/150)	48時間の総雨量537mm
国土交通省	神通川	井田川	2日間の総雨量254mm (1/100)	48時間の総雨量753mm
国土交通省	神通川	熊野川(下流※)	2日間の総雨量276mm (1/100)	48時間の総雨量872mm
富山県	神通川	熊野川(上流※)	24時間の総雨量232mm (1/50)	24時間の総雨量730.8mm
富山県	神通川	いたち川	24時間の総雨量207.9mm (1/50)	24時間の総雨量813mm
富山県	神通川	土川	24時間の総雨量161.1mmを基準 (大正3年8月:ピーク流量130m ³ /s)	24時間の総雨量813mm
富山県	神通川	山田川	24時間の総雨量237mm (1/50)	24時間の総雨量733.7mm
富山県	神通川	坪野川	24時間の総雨量177.3mm (1/30)	24時間の総雨量813mm
富山県	上市川	上市川	24時間の総雨量273.8mm (1/50)	24時間の総雨量758mm
富山県	白岩川	白岩川	24時間の総雨量233mm (1/50)	24時間の総雨量723mm
富山県	白岩川	大岩川	24時間の総雨量187mm (1/50) (市内に影響なし)	24時間の総雨量813mm
富山県	白岩川	栃津川	24時間の総雨量166.1mm (1/50)	24時間の総雨量807mm

※熊野橋上流が富山県管理、下流が国土交通省管理

(参考) 観測史上、神通川でもっとも高い水位を計測した平成16年台風23号(10/19～10/21)の雨量
岐阜県高山観測所：276mm/48h, 256.5mm/24h
富山県猪谷観測所：208mm/48h, 191mm/24h、富山観測所(石坂)：116.5mm/48h, 106.5mm/24h